子宮動脈塞栓術を受けられる

説明医師
説明看護師（外来）
看護師（病棟）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様へ

月日	月　日	月　日		月　日	月　日
経過	入院日	当日（術前）	当日（術後）	術後１日目	術後２日目 （退院日）
目標	手術に対する不安を伝えることができ、 不安が最小限となる		下腹部痛が緩和し、苦痛が最小限となる むかつき、発熱に伴う苦痛が最小限となる 副作用が早期に対処され硬膜外麻酔による痛みのコントロールが図れる		退院後の生活上の 注意点が理解できる
検査	身長体重測定			採血 尿検査	
食事		治療が終わるまで絶食 **（午後治療の場合は昼食まで絶食）** 水分制限なし 治療後指示があれば食事開始			採血と診察の結果 問題なければ朝食後 退院
	朝食は 自宅で	（　）	（　）		
処置・観察	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
	リストバンドを装着します （退院日まで装着します） 入院後、手術室で 痛み止めのチューブを 背中から挿入します 足の血液循環の確認のため 足の甲にマジックで印を つけます 鼠径部の除毛を行います	病室で尿の管を 挿入します 午後治療の場合、 点滴の針を挿入します		歩行できれば 尿の管を抜きます	硬膜外チューブを 抜きます 創の状態を確認します 退院時にリストバンドを外します
注射・内服	持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡し ください 治療開始時間が午前の場合点滴用の針を挿入します	手術前に点滴 を行います	治療後の点滴が あります ＊痛み・むかつきなどがあれば 看護師に申し出てください	点滴が眠前まで あります 鎮痛剤の内服で 痛みを緩和します →	
行動	制限ありません オムツとナプキンを お預かりします チューブ挿入後は 許可があるまで 床上安静です 弾性ストッキングの サイズを合わせます 入浴は、前日もしくは 入院前に自宅で 済ませてきてください 手足のマニキュアや ネイルアートははずし、 爪も切ってきてください	検査着は当日 お渡しします 洗面後、検査着に 着替えてください 弾性ストッキング をはいてください	ベッド上で足を伸ばした 姿勢で２時間 絶対安静です その後医師の許可が あれば、ベッドにもたれた状態で座ることができます （術後当日は床上安静です）	座ることが できます 足の付け根の創を 確認します しびれの程度により 歩行できます 全身を清拭します	歩行できます 硬膜外チューブが抜け、 発熱がなければシャワーができます
説明	医師より説明 ・手術と治療計画について 麻酔科医師より説明 ・麻酔について 看護師より説明 ・入院生活について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について			看護師より説明 ・早期離床について	医師より説明 ・退院後の治療について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について

＊入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

13-D25-4　2022.10.11 版

＊入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
＊この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

京都第一赤十字病院

手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

☛ 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

１０を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか

0　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10

痛みがない　　中等度の痛み　　最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。